

名古屋市農業センター × 名城大学農学部 『相互協力及び連携に関する協定』を締結しました。

名古屋市農業センターと名城大学農学部が相互協力及び連携を進める協定を結びました。

1 目的

相互の発展並びに組織の活性化を図るため、双方の所有する農業資源を活用することにより職員及び学生の交流を推進する。

2 協定の内容

- (1) 農業資源の相互活用
- (2) 農業センター活性化に関する研究
- (3) 研究者及び職員の交流
- (4) インターンシップ等における学生の受け入れ ほか

3 連携事業1「しだれ梅の花酵母の採取」

最初の連携事業として「しだれ梅の花酵母の採取」が式典後行なわれました。

事業の目的

- ・名城大学院生がしだれ梅の花を採取し、取り出した野生の花酵母を研究室で培養する。
- ・酵母が糖を発酵させる性質を利用し、日本酒やパン作りに活用する。



左:小原章裕農学部長、中:伊藤容子天白区長
右:谷口茂弘農業センター所長



しだれ梅の花酵母を採取する農学研究科
1年の望月麻衣さん